

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.80)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、安全操業に努めてPCB廃棄物処理を継続しております。

11月の処理実績は、8日から26日まで秋期定期点検及び設備修繕工事の実施に伴い、操業を停止しておりましたので、受入台数、ライン投入台数共に通常の月と比べ少なくなっております。11月の処理実績は下表のとおりです。

写真は、11月25日に実施した超大型トランス2台、大型トランス1台の現地調査のものです。确实、安全に受入れを行うために実施しています。

平成22年11月の操業実績

| 種 別 | | 受入台数 | ライン投入台数 |
|--------|-------|-------|---------|
| コンデンサ類 | | 359 台 | 69 台 |
| トランス類 | 大 型 | 1 台 | 1 台 |
| | 小 型 | 15 台 | 9 台 |
| | 車 載 型 | 0 台 | 0 台 |
| 廃PCB等 | | 0 個 | 4 個 |
| 保管容器 | | 0 個 | 0 個 |

※受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数とライン投入台数に差が生じます。



超大型トランスの現地調査の様子
(総重量13.75t、油量4,180L)



この大型トランスは、総重量11.5t、油量3,260L

2. PCB廃棄物の12月の受入計画について

平成22年12月の受入計画(予定)

| 種 別 | | 受入台数 |
|--------|-------|-------|
| コンデンサ類 | | 470 台 |
| トランス類 | 大 型 | 3 台 |
| | 小 型 | 15 台 |
| | 車 載 型 | 3 台 |
| 廃PCB等 | | 8 個 |
| 保管容器 | | 2 個 |

12月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、豊田市内の事業者から14台、愛知県内から147台、静岡県内から122台、岐阜県内から87台、三重県内から100台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から6台、静岡県内から3台、岐阜県内から9台、車載型トランスは静岡県内から3台を受け入れる予定です。また、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から8個、保管容器は、豊田市内から2個を受け入れる予定です。

3. 少量保管事業者に対する説明会の開催について

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

11月10日には愛知県碧南市および高浜市を対象に説明会を実施し、合わせて78社の事業者の方々にご出席いただきました。

説明会では、平成23年5月～平成23年7月の搬入予定期間に向けて、受入までに進めていただく契約諸手続き、事業者間の積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、PCB廃棄物の処理を継続してまいります。



説明会の様子(碧南市会場)

4. 豊田市PCB処理安全監視委員会の開催

11月1日、豊田施設において平成22年度第2回豊田市PCB処理安全監視委員会(委員長:松田仁樹名古屋大学大学院教授)が開催されました。

豊田市から、当施設への立入検査の実施状況として、トランス油漏洩事故、運搬汚染物の搬出、等について報告されました。特に事故については原因究明と再発防止についての指導、安全教育の徹底、等の報告がありました。

また、収集運搬事業者の作業状況及び平成21年度末PCB廃棄物未処理事業者の保管状況の確認立入検査は、いずれも適切に行われていることが報告されました。

その他、環境モニタリング調査、収集運搬時におけるヒヤリ・ハット事例集、等が報告されました。

弊社からは、平成22年度の東海4県におけるPCB廃棄物処理状況、PCB漏洩事故、等について報告を行いました。

委員の方々からは、事故を未然に防げるように訓練してほしい、等のご意見をいただきました。



監視委員会の様子

5. 秋期定期点検の実施

(1)秋期定期点検の実施

平成22年度の秋期定期点検は11月8日から11月26日まで行いました。

定期点検は、解体設備、洗浄設備、排気処理設備、液処理(無害化处理)設備等の自主点検や消火設備などに対する法定点検を含め、設備の安全性・健全性が保てるように点検、整備を実施しました。

また点検期間中には、豊田施設が今後も安全かつ確実に、安定したPCB処理を維持できるように設備の修繕や排気処理設備の活性炭交換等も行いました。

点検終了後は、順々に施設を立ち上げて、安全に操業できることを確認してから12月1日に操業を再開しました。



液面計の清掃



小型切断装置の改造

(2)定期点検時のトラブル

11月19日、定期点検期間中に実施した液処理反応槽の気密テスト確認後の圧抜き作業時に、他の点検業務のため取り外していた排気配管のフランジ部から微量のPCB(約9mg/kg)を含む凝縮液が約5リットル漏れるトラブルが発生しました。なお、漏れた液はただちに回収し、外部への流出はありませんでした。また、当該システムからの排気のオンラインモニタリング結果にも異常はありませんでした。

本トラブルを受け、今後は点検により取り外した排気配管が完全に復旧してから気密テストを実施する改善措置を講じることとしました。

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>